

福島中学校

3年生入試に向け 本格始動

12月1日(火)から8日(火)までの6日間、三者面談が行われました。

1年生から3年生まで、生徒・保護者・担任の三者で、生徒の家庭での様子、日頃学校での学習面・生活面での様子、そして今後の学校での生活や学習の仕方・進路などについて話し合いが行われました。

3年生はこの三者面談で進路を最終決定するという側面があり、生徒も保護者も、そして担任も緊張した面持ちで面談を行い進路決定を行っていました。

また3年生は15日(火)には面接の事前指導が行われ、入室するときのノックの仕方や面接中の目線の位置、立ち振る舞いなど面接試験のノウハウの指導が行われました。11日(金)からは願書書き、17日(木)からは面接練習が行われています。中学校全体が入試に向けて本格始動し始めてきています。

福島町青少年の主張大会 ついでに銀賞受賞

12月5日(土)に平成27年度福島町青少年の主張大会が福島町青函トンネル記念館で行われました。1年生の新山蘭さんと2年生の馬舛洸史郎君の2名が福島中学校代表として出場しました。

新山蘭さんは「喜怒哀楽」と題し、人間の感情の大切さや必要性について主張してくれました。

馬舛洸史郎君は「友達とは何か」と題し、これまでの生活や部活動での経験から、本当の友情とは何かについて主張してくれました。

どちらの主張も中学生らしい瑞々しい主張でした。新山蘭さんと馬舛洸史郎君には福島町教育委員会より銀賞が贈られました。



平成27年度 福島町青少年の主張大会

平成27年度 福島町PTA 連台会研究大会の開催

11月22日(日)に平成27年度福島PTA連台会研究大会が福島中学校体育館で行われました。

今年度の講師として以前福島中学校でも教鞭を執られたウンセラーとして活躍されております山中義廣様をお呼びしご講演いただきました。

講演は「風味の利いた子育て」と題し、子どもとのふれあいや子どもの話へのうなずき、そして常に後ろからそつと見守ってあげることが、子育てには大事であると言うこととを、長い教職経験の中からご講演下さいました。聞いていた保護者の方々もメモを取り、うなずきながら講演に耳を傾けていました。



A連台会研究大会

福島商業高校

インターンシップ 町内各事業所で

今年度の就業体験学習(インターンシップ)は、11月11日(水)～13日(金)の3日間で行われました。2年生21名が、福島町役場を始め、9事業所に分かれて就業体験をさせていただきました。

インターンシップは、自己の職業への意識や職業観・勤労観を養い、将来について見定め、目標を持たせることを目的に実施しています。

生徒達は緊張した面持ちで、事業所の方に仕事を一つ一つ教えていただきながら、一生懸命頑張っていました。この3日間で得たものはとても多く、充実した経験をさせていただきました。



ご協力いただいた事業所の方々、生徒の活動を温かく

見守ってくださいます。地域の皆様へ感謝申し上げます。



普通救命講習会 命の大切さを

本校では毎年、2年生を対象に普通救命講習会を実施しています。今年度は、11月19日(木)に福島消防署の方を講師に招き、実施しました。

実技では、男女別の2班に分かれて、ダミー人形を使用した「心肺蘇生法」や「AED(自動体外式除細動器)の使用法」を生徒全員が体験しました。



講習会を通して、生徒一人ひとりが「命の大切さ」を再認識することができました。